

危機から拾った夢

キム・ゴンフェ

みなさん、こんにちは私は理工学部化学生命学科 化学・応用化学EPのキムゴンフェと申します。

今日、先に発表してくださった皆さんが話したように「私の未来」を語りたいと思います。私は大学卒業後、希土類のリサイクルを研究したいと考えています。なぜ、そう思うようになったのか、これから皆さんにお話ししたいと思います。

わたしは以前、韓国の工場で働いていた時、指をモーターに挟んで一本切断する事故に遭いました(会いました)。その後手術で接合し、今、ここにある通り無事にくっついてます。よくみると右と左の指の形が違いますよね。

大きな手術だったため、一ヶ月の安静(あんせい)が必要となり、その間、色んなニュースみて、沢山の本を読みました。その中で私の目を捉(とら)えたのは電子機器に使われる希土類が環境汚染の原因になる、しかし使用量が増え続けており、今後も増加する見込みである、というニュースでした。

このニュースは中学の頃からのガジェットオタクであるわたしには他人事には思えませんでした。ガジェットオタクとは私たちが普通に使うタブレットや携帯、パソコンなどの電子機器に対して強い関心を持っている人を言います。そのため、わたしは身近に電子機器をたくさん持っていたんです。

このニュースを見てから、部屋の片隅(かたすみ)にある使わなくなったPCのパーツやタブレットを入れた箱を見たときや、新しい電子機器を買うとき、汚染のことが過ぎて(よぎって)「これ買ってもいいのだろうか」と考えるようになりました。

そして、「罪悪感なくオタク活動がしたい」と思いました。

そこで希土類のリサイクルについて調べてみたところ、その分野で日本が最先端であるということを韓国の環境省の資料で知り、すぐさま入試を準備していまここにいるように横浜国立大学の理工学部に入りました。

これから、大学そして大学院で一生懸命勉強し、卒業した後には希土類リサイクル研究に努め、自分、そして私のようなガジェットオタクたちが環境についての罪悪感なく活動できるようにすることを実現することと共に、未来の人たちが希土類について負担なく使えるような技術の土台(どだい)を作りたいと思います。

みなさん、私の発表は以上です。今日、みなさんの大事な時間をいただき、誠にありがとうございます